

Cleaning Manual/Checklist

BATHROOMS:

Dusting

High & Low Dust Cobwebs

天井や床の隅には、クモの巣が発生しやすいため、チェックする習慣を身につける。クリーナーが定期的に入っている家に蜘蛛の巣があるのは NG。

Door Frames/Doors

ドアの凸凹の部分はダスト又はウェットクロスで拭く。ドアの裏側も忘れずに。お子さんがいる家のドアのドアノブの下部分は手垢が目立つので水拭き。

Doorknobs/Doorhandles

ドアノブ/ハンドル

の指紋をふき取る。クローム素材は光らせる。

Light Switches

角度変えてよく見て汚れていたら指紋をふき取る。

Ventilation Fan

換気扇ダスト。ダスターの棒を使ってホコリをとる。こびりついていて取れない場合、ステップやカウンターに乗って届くようであればブラシを使ってきれいにする。

Windows/Window Tracks/Windowsills

窓、サンなど。ディープ以外ダストでよい、必要があればスポットワイプ。窓をふく場合は内側のみ。

Baseboards

バスルームのベースボードはホコリが湿気でこびりついているのでスポットワイプ。ドアが開いた状態のドアの後ろに隠れたベースボードも忘れずに。

Blinds

バスルームにブラインドがある家はあまりないですが、あればダストもしくはスポットワイプ。

Light fixtures

通常はダストのみ。ディープの場合は水拭き。電気がついたまま拭くのは危ないので暗くて見えない時以外は電気は消して拭くことをお勧めします。電球はさわらない。

Mirror frame, furniture, shelves

鏡のふちや棚があればダスト。

Walls

バスルームは湿気があるので壁に水滴のマークがよくみられます。気が付けばスポットで軽く拭く。

Sink/Vanity

Rearrange the towels neatly

タオルはきれいに三つ折りにしてかけなおす。タオルホルダー特にバーの場合、タオルを強く引き取るとバーが外れることがよくあるので、タオルをハンガーからとる場合はゆっくり丁寧に。

Clean and shine towel hanger

タオルハンガー。よく見てホコリをとりのぞく。見落としがちです。

Clean sinks

バーキーパーかダウンと青いスポンジできれいに擦る。シンクとカウンターの接続部分や排水溝の周り、届く範囲で排水溝の

中、faucetの角やうらの汚れは必ずブラシを使ってきれいに。ブラシはエプロンのポケットに入れて持ち歩くか、いつでもすぐ使えるように準備しておく。

❑ **Un-plug the sink if needed**

必要があればパイプクリーニングブラシで水の流れをよくして掃除する。パイプクリーナーを使っても水が流れずシンクの掃除ができない場合はトレーナーもしくはオフィスに報告を入れる。

❑ **Clean faucet and shine**

水栓のハンドルを上げた時に見える部分もブラシできれいに。クローム素材の蛇口やハンドルにもやもやの汚れがついている場合で、ガラスクロスで拭いても汚れが取れない場合はバーキーパーの原液をクロスにつけて汚れ部分を拭くとマジックのように汚れが取れることがあるのでやってみてください。

❑ **Clean countertop**

物をよけてカウンタートップを拭いて物を戻しラベルをきれいに正面にむけて整える。最後にカウンターに目線に合わせて、手をはわせてきれいなことを確認する。ウェットワイブのあとドライワイブで磨くのが光らせるポイント。

❑ **Wipe bottles, cosmetics, hairbrushes etc.**

カウンター上のコスメのボトルなど、ほこりを拭く。ラベルを正面にしてきれいに並べる。センスの見せ所。

❑ **Electric toothbrush charger**

電動歯ブラシの充電器（ボトム）は汚れていることが多いので歯ブラシをあげて確認して拭く。

❑ **Wipe and shine mirror**

鏡はステップツールを使って手の届く範囲で上の方まで拭く。シンクの目の前の部分は水しぶきが飛んで特に汚れているので、目線を蛇口まで下げて角度を変えてやり残さないか必ず確認。

❑ **Wipe cabinets and handles**

シンク真下のキャビネットは水がこぼれて汚れているので必ず拭く。

Toilet

❑ **Empty trash/clean trash cans**

ゴミ箱は外側も内側も汚れていれば拭く。お客様のライナーが各家のどこにあるか把握する。ライナーがあればつけ、ない場合はゴミ箱を空にするだけでよい。

❑ **Scrub toilet bowl**

頭を逆さにしてトイレのふちを見る。水がたまる穴もよく見てこする。水をブラシで穴の奥に押すようにすると水位がおりて便器の表面が水面に出るので掃除がしやすくなる。

❑ **Toilet Brushes**

便器内を掃除したら、水を流しきれいな水でブラシをゆすぐ。ブラシの水を切る時、便器の淵にぶつけないよう注意します。大きい音がしてお客様が不愉快におもわれます。うまく水をよくきり、ブラシのホルダーに戻す。

❑ **Clean Toilet brush holder**

トイレブラシホルダーの表面もきれいに。ホルダーの中身もあまりにも汚れている場合ライソルスプレー & トイレトペーパーで拭いてあげれば完璧。

❑ **Clean side of the vanity beside toilet bowl**

便器周辺の壁やシンク台の横を拭く。ここ見逃しがちで汚れていることが多い。トイレトペーパーホルダーのついている壁も汚れていたら拭く。

□ Clean/disinfect toilet and around

タンク上、タンク表面、ふた上、ふた裏、便座、便座裏、ふたと便器の接続部分、便器の下と横部分、便器裏、ボルト、裏にあるパイプを拭く。ライソルスプレーとトイレットペーパーできれいに。ボルト部分はブラシを使ってきれいに。トイレットペーパーで拭いたあと繊維が残るのでそのあとクロスで仕上げ拭き。仕上げ拭きはペーパータオルだとあまりきれいにならないのでトイレの仕上げ拭き専用クロスを他のクロスと分けて使うとよい。

□ Hand-wipe floor around toilet

バキュームとモップが狭いエリアに入らないので、トイレ周辺の床はライソルスプレー & トイレットペーパーで手拭きする。あまりにもほこりと髪の毛が多い場合、先にバキュームするとよい。

□ Remove toilet lid and clean under if possible

フタが取れるタイプの便器はふたを外して拭く。フタの接続部分を壊さないよう注意。

□ Clean and shine toilet paper holder

トイレットペーパーホルダーを拭くこと忘れがちです。必ずほこりとって光らせる。

□ Fold toilet paper

トイレ掃除終了の合図とする大事な作業。葉っぱ、扇、三角、ハートなど。

- 注意：トイレ掃除の時にトイレットペーパーを使いすぎるとトイレが詰まるので、こまめに流すか、流さずにゴミ袋に入れる。トイレットペーパーは暗黙の了解でお客様の物を使わせてもらっているの、無駄遣いはせず、家に予備のペーパーがない場合はペーパータオルかクロスで対応。予備が見当たらない時、お客様にトイレットペーパーがどこにあるか聞かない。残り少ないロールを掃除で使い切ってしまうと、新しいロールがシンク下にある場合は新しいロールをホルダーに付け替える。シンク下のキャビネットを開けてトイレットペーパーを探す時、気持ち少し整理してあげる気遣いがあるとよい。

Bathtub

□ Remove shampoo, toys and other stuff

シャンプーやおもちゃ等をとりぞいでから掃除を始める。終わったらまたもとの位置に戻し、きれいに並べる。

□ Remove bathroom rugs

ラグやマットは軽くはたいて汚れを床に振り落として、部屋の外に出してから掃除を始める。モップが終わったらもとにもどすかバスタブにかける。モップ後にラグやマットを戻すときは床が乾いているのを確認して戻す。

□ Remove bathtub mat

バスタブの中に敷く滑り止めのマットはバスタブからはがして裏の吸盤をブラシで擦って水で流し、クロスで水気をふき、まるめて立てておく。

□ Clean bathtub/walls/tiles

1. バスタブとシャワールームが分かれている場合のバスタブ（独立しているバスタブ）の場合：

メラミンスポンジを使っていいバスタブ素材が見極める。このタイプのバスタブは使用していない場合が多いので、軽く拭くだけで済む場合はそうする。汚れている場合はバスルームクリーナーをふき掛けてメラミンスポンジか青いスポンジで擦り、水で流す。手をはわせてざらつきが取れたか確認。タオルドライしてガラスクロスで拭いてツルツルにします。faucet と水栓を光らせる。バスタブの裏側（床）もダスターできれいにする。

2. バスタブとシャワーが一緒になっていてカーテンがついている場合：

一番そうじに時間がかからないバスルーム。バスタブだけではなく壁もこすります。バスタブはシャワークリーナーとスポンジ（またはメラミン）でスクラブ。壁がタイルの場合はメラミンスポンジでタイルをこすり、グラウトはブラシでこする。スポンジで擦って

もとれない壁のカルシウム汚れは steel wool とバーキーパーをつかって擦る。グラウトやパッキンにあるピンクやオレンジのカビはブラシで優しくこすって取り除く。グラウトをブラシでこすってもきれいににならない場合はあらかじめ次の作業に移る。水を流し水気をスクイージーでとりのぞきタオルドライ。シャワーヘッドが固定されていてハンドシャワーが使えない場合は、バケツを使って水を流す。最後にガラスクロスでバスタブ、壁、faucet と水栓を光らせる。終わったらシャンプーをもとの位置に戻し並べる。

3. バスタブとシャワーが一緒になっていてガラスドアがついている場合：

バスタブ、壁、ガラスドア（内側と外側）、ドアフレーム、ドアトラックをきれいに。詳しくは下の Shower Room を参照。

□ **Clean Grouts**

グラウトはタイルとタイルをつないでいるセメント素材で、通常シーラーが上に塗られていて水分や汚れをふせぐのですが、グリーチやアンモニアの強い薬剤を使うとシーラーが取れ、変色の原因になる。またブラシで強くこするとシーラーがはがれて割れる原因となり、割れた隙間からタイルの裏側に水分がはいり、壁の中にカビが生えてグラウトをきれいにしてもカビがすぐに発生するようになる。スポンジの角で擦るのが好ましいようですが、一本ずつ擦るのは時間がかかるので、たわしで全体を擦ったら、グラウトブラシで角の汚れをブラシで軽くこすってピンクやオレンジの汚れを取り除く。黒カビや変色したグラウトは擦っても変化がないので、それ以上強くこすらない。カビや変色したグラウトはスペシャリストに依頼してグラウトをやり替えてもらうしか方法がないのであらかじめ。

□ **Floor sealant/bathtub sealant**

バスタブ前/周りの床のパッキン、バスタブと壁をつなぐ部分のパッキンも拭く。必要があればブラシを使うが、パッキンは破けやすいので、丁寧にこすこと。破けたらそこから水が入り込み壁の裏にカビが繁殖する原因になる。

□ **Clean and shine faucet & shower head**

シャワーの水量や温度をコントロールするダイヤル、シャワーヘッドは光らせてきれいな部分を手前にむける。

□ **Outside of bathtub**

バスタブの外側は見落としがちです。バスタブ拭くついでに軽くふく。

□ **Ensure the bathroom smells good after cleaning**

雑巾のくさいにおいが残ったままなことがあるのでバスルームクリーナーやシーブスでいい香りが残るよう工夫する。

□ **Check the bathtub drain is open and water is shut off**

ドレインが開いていること、蛇口がきちんと閉まっていることを確認。浸水の原因にならないよう最終確認。

- 注意：火災スプリンクラーには触らない。ドアフレームの上や白い壁についていると見えにくいので、ダストする際には気を付ける。圧力がかかるとスプリンクラーが起動し家が浸水します。
- 注意：バスタブ掃除の際に床が水びたしにならないよう気を付ける。

Shower Room

- ❖ 時間がないから水を流すのを避けてガラスを拭くだけで済ませてしまうことがあります。結果的にその方が時間がかかり、きれいになりません。思い切って、水をかけてスプレーし全部擦って流し、スクイージーして拭く方が早くきれいになるので、恐れずにやりましょう。思ったほど時間はかかりません。時間がない場合は全体ではなく汚れているガラスの下の部分と床に水をかけてしっかり掃除し、汚れていない上の方は拭くだけという方法もいいかもしれません。

□ **Remove bottles from shower room**

シャンプー等全部外に出す。置いてあった位置を覚えておく。シャンプーボトルを収納するラックがかかっている場合や吸盤でガラスの壁についている場合は取り外さずまわりをきれいにすればよい。

❑ **Remove bathroom rugs**

バスマットがあればたいていゴミを床に落としバスルームの外におく。

- ★ Tip 1: シャワールームを出入りするときに滑らないようにあらかじめクロスをドアの前におくことをお勧めします。
- ★ Tip 2: 必要なものすべてをシャワールームの中に準備する。(stool, メラミン、バーキーパー、バスルームクリーナー、ガラスクリーナー、ブラシ各種、クロス、ガラスクロス、スクイージー) いたりきたりする時間が無駄。
- ★ Tip 3: バスルームは素材によって使う薬剤が違うので、その家でトレーナーと毎回確認する。
- ★ 注意: ガラスドア開け閉めの時に水が床にこぼれます。浸水しないよう要注意。クロスを床に敷くなどで対応。

❑ **Clean & scrub walls/grouts/floors**

壁、グラウト、かど、ソープディッシュなど、シャワールームすべてきれいに。床とガラスドアの隙間の壁に汚れがたまるので、目線を低くしてよくみる。ピンクのカビは絶対に残さない。壁をスキップする方が多いのですが、壁も全部届く範囲でメラミンスポンジ/青いスポンジでこする。スポンジでとれない壁の(タイルの場合)カルシウムの汚れは steel wool とバーキーパー で擦ります。上の方は水が飛ばないので基本的にきれいですが下の方は垢がへばりついているので念入りに。グラウトやパッキンの黒いカビは取れないことが多いので、強く擦らずあきらめて、オフィスに連絡する。

❑ **Clean Door tracks/frames**

ドアのフレーム、トラックなどもブラシを使って汚れをかきだす。

❑ **Clean Shower doors**

ガラスはメラミンスポンジとバーキーパーを使います。汚れがひどい場合はバーキーパーと steel wool でこすります。Step Stool を使って上まできれいに。

❑ **Clean Shower door seal**

通常ディープでやる作業。ガラスドアの下についている水漏れ防止用のプラスチック素材にシリコンのひだがついたシール。下に引っ張って取り外して、ブラシできれいにして水で流し、拭いたあとまた戻します。シールがついていた部分もカルシウムがたまっているのできれいにする。折らないよう気を付けて取り扱う。取り外す前にどっちが前なのか、どのようについているか確認してからとり外す。ドアに戻す時、ドアの角からスライドインさせようとするので折れるので、ドアの下からストリップを上ガラスドアにはめ込むようにして、最後に少し飛び出た部分を押し込むとうまくいく。

❑ **Clean shower-drain**

通常ディープでやる作業。黒カビが生えていることが多く見た目が汚いです。スクリュードライバーで優しくふたをあけて、ふたとドレインの中をきれいになります。これをやると見た目がすごくきれいになります。

❑ **Rinse, squeegee, wipe and shine the glass doors**

すべてをこすり終わったら、シャワールーム全体を水で流す。シャワーヘッドが固定されていてハンドシャワーが使えない場合はバケツをつかって水を流す。バーキーパーを使った場合は特に完全に薬剤を流すこと。水で流したら、Step Stool に乗ってスクイージーでガラスや壁の水を上から下に切り、スクイージー跡の線をガラスクロスで仕上げ拭きする。床もスクイージーで水気を切り、クロスでしっかり拭き、最後に温度調整のダイヤルやシャワーヘッドをガラスクロスで光らせる。ガラスドアの外に出て、目線を変えて拭き残しがないか確認し、中も外も拭く。ドアハンドルも忘れずに拭く。さらに光らせたい時はガラスクリーナーを使って(ガラスドア)仕上げ磨き。

❑ **Ensure the bathroom smells good after cleaning**

雑巾のくさいにおいが残ったままなことがあるのでバスルームクリーナーやガラスクリーナーでいい香りが残るよう工夫する。

❑ **Wipe the glass on outside of the shower room**

シャワールームの外に出て目線を変えてよく見て外のガラスも拭く。

Clean floor sealant

ガラスドア前、シャワールーム周辺の床のパッキン部分もきれいに。強く擦ってやぶらないよう注意。

Put everything back in the shower room

シャンプー等全部をもどし、美しく並べる。

Final Check

- シャワーヘッドのきれいな面、ボトルのラベルが手前をむいているか
- 鏡とカウンタートップは目線を変えてやり残しないかみる
- 水滴は残っていないか
- 髪の毛が残っていないか
- ゴミ箱は空にしたか
- バスルームマット/ラグはきちんと戻されているか（モップのあと）
- トイレは流したか
- トイレトペーパーホルダーとタオルハンガーのほごり
- トイレトペーパーは折れているか
- 不快なおいは残っていないか
- シンクとバスタブ、シャワーの蛇口がきちんと閉まって水漏れがないか
- 電気は消したか